

石井流の時間

～流れのまま、気の向くまま～



小学校の運動会に出かけた。
玉入れ、騎馬戦、徒競走。
懐かしい競技の数々に、
つい、童心にかえってしまった。



童学寺の本堂の裏に逍遙園という庭園がある。
この庭園の中に流れる時間は、日々の慌たせと異なり、
ゆっくりと穏やかで、訪れる人の心を癒してやる。



中央公民館で
健康まつりが行われていた。
健康慮れをするそうで、
準備に余念がありません。
健康について
興味をもってもらふこと、
そゆが、健康づくりの第一歩。

第十堰から見た夕日。
土手の上からだと
気づかなかつたけど、
川面も夕焼けに染まっていた。



天神様で一休みしていると、
イチョウの枝葉の向から木漏れ日が差していた。
これこそまさに石井流のイチョウ鑑賞。



飯尾川公園では、地元の企業さんたちが作った
イルミネーションが点灯していた。
可愛く飾られた作品に、子どもたちも大喜び。



はじめて乳牛・和牛共進会に行ってきた。
手塩にかけて育てた牛たちを披露し、
グランドチャンピオンも選んでいた。



青年団が中心となって、
毎年の夏まつりは南催でまている。
光り輝く背中の文字は有志の証。
太陽よりも眩しい。



毎年11月3日に三社神社の祭礼に
奉納される高川原勇獅子。
物語は14の場面で
構成されているらしく、
激しい動きはとて勇壮だった。



としまマラソンの
応援に行った。
ランナーが一瞬懸命走る姿に
感動した。
いつかは挑戦してみたい。



田中家住宅に、見たことのないものがあった。
家の方に尋ねると、『跳ねつるべ』という
深い井戸の水をくみ上げる道具だと
教えてくれた。